



## PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

九州予選 宮崎国際 G.C. (宮崎県)

### 予選大会結果

<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 九州予選>

◇2015年2月28日(土) 天候:曇り

◇宮崎・宮崎国際G.C. (15-17歳男子7228ヤード、パー72ほかカテゴリー別)

◇出場87人

<九州予選大会 概況>

世界ジュニアゴルフ選手権(7月、米国サンディエゴ)を目指す戦いが始まった。13-14歳の部女子で、後藤未有(福岡・沖学園中2年)が、4バーディー、3ボギーでこの日ただ一人のアンダーパーとなる1アンダー-71をマークし、1位で決勝大会(5月5-7日、岐阜・花の木G.C.)に進出した。15-17歳の部男子は福岡奨鯉(宮崎・日章学園高2年)が最終18番で2罰打を課されたが、イーブンパー-72をマーク、同女子では鍋島海良(熊本・菊陽中3年)がインを2バーディー、2ボギーで9ホールすべて「4」で回る珍しいスコアをマークして5オーバー-77で回り、ともに1位で決勝大会に進んだ。11-12歳の部男子では、昨年の全国小学生大会優勝の松田正史(熊本・春日小5年)が5オーバー-77でトップ通過した。

決勝大会進出者は以下の通り。

<九州予選大会 結果> \*敬称略

▽15-17歳男子

【1位】福岡奨鯉(宮崎・日章学園高2年) = 72

【2位】山本敬三(宮崎・日章学園中3年) = 77

▽同女子

【1位】鍋島海良(熊本・菊陽中3年) = 77

【2位】松島華暖(福岡・弓削田中3年) = 79

【3位】神谷咲来(福岡・明星中3年) = 81

▽13-14歳男子

【1位】大石敦也(広島・井口台中1年) = 74

【2位】出利葉太一郎(福岡・片江中1年) = 75

▽同女子

【1位】後藤未有(福岡・沖学園中2年) = 71

【2位】園田結莉亜(大分・大分中1年) = 73

【3位】谷口美月(福岡・金川中2年) = 77

▽11-12歳男子

【1位】松田正史(熊本・春日小5年) = 77

【2位】森園大河(鹿児島・高山小6年) = 77

▽同女子

【1位】速水梨花(熊本・画図小6年) = 84

【2位】米村りこ(熊本・田迎南小6年) = 86

### ▽9 - 10 歳男子

【1位】吉田京介（大分・南部小4年） = 79

### ▽同女子

【1位】森愉生（大分・大分大教育福祉科学部付小4年） = 78

【2位】小桜咲（大分・荷揚町小4年） = 87

### ▽7 - 8 歳男子

【1位】吉田主爽（大分・南部小1年） = 93

### ▽同女子

【1位】豊田ヒカル（熊本・築山小1年） = 88

（注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる。

## <九州予選大会 ハイライト1>

### ◇13-14 歳の部女子 ◇宮崎・宮崎国際GC（6376ヤード、パー72）

後藤未有（福岡・沖学園中2年）が1アンダー71と会心のゴルフをみせて、決勝大会（5月5～7日、岐阜・花の木GC）に進んだ。1番で1メートルにつけてバーディースタートしたが「前半はパターが決まらず、もったいないゴルフをした」と、グリーンを外した3ホールを拾えなかった。9番で奥のカラーから7メートルを直接入れるバーディーで吹っ切れた。自分の持ち球のフェードと「ピンを見たときの球筋のイメージが合ったら、いいショットが打てる」と、インに入って11番1メートル、15番3メートルと2つのバーディー。この日ただ一人アンダーパーをマークした。それでも自己採点は「60点ぐらい。アプローチで簡単なミスをした」と反省した。この九州予選では2年前に11-12歳の部で優勝したが、決勝大会では3位に終わり1打差で世界ジュニア出場を逃した。「決勝大会ではボギーをたたかないゴルフをしたい」と、雪辱を期す。

## <九州予選大会 ハイライト2>

### ◇11-12 歳の部男子 ◇宮崎・宮崎国際GC（6376ヤード、パー72）

昨年の全国小学生大会のチャンピオン、松田正史（熊本・春日小5年）が「貫録」の1位通過を果たした。「去年日本一になったので、恥をかかんようにせんといかんと考えた」と、プレッシャーを感じてスタート。7番でアプローチをダフってトリプルボギー、9番では右OBでダブルボギーとたたいて「ダメだって思った」という。それでも、折り返しで首位に2打差と聞いて発奮。16番でバーディーを奪い、その時点でトップの同組の森園大河（鹿児島・高山小6年）に1打差に迫った。18番で森園が先にパーで上がり「1・5メートルのバーディーパットを慎重に読んだ。フックラインが入った」と、ともに77で上がったが、18番からのカウントバックで1位が決まった。「今日は立ち直ってもすぐ崩れるゴルフをしてしまった。去年のこの大会は87も打ったけど、今年は決勝でも勝って世界に行きたい」と、目を輝かせた。

## <九州予選大会 ハイライト3>

### ◇15-17 歳の部女子 ◇宮崎・宮崎国際GC（6376ヤード、パー72）

鍋島海良（熊本・菊陽中3年）がイン全ホールを「4」で上がる珍しいスコアで回り、1位で決勝大会（5月5～7日、岐阜・花の木GC）に進出した。「前半はすごく悪いゴルフをした。9番で4パットしてしまった（トリプルボギー）」と、41をたたく不本意な出来。インに入ってパー3で2つボギーにしたが、あとは粘り、16番パー5でバーディー。18番パー5を迎え「そこまで全部4だったので、絶対取ろうと思った」と、気迫のバーディーで思惑通りの36をマークし、5オーバー77で切り抜けた。熊本在住で、小4の時に近所の熊本空港CCで行われた女子ツアーのライフカードレディス（現KKT杯バンテリンドレディス）を観戦に行って「選手が格好良かったので、ゴルフをしたいと思った」と、始めたという。この大会は初めての出場で、決勝大会に向けて「自分のベストを尽くして、上位に入りたい」と意気込んでいた。



写真： 左／後藤未有（13 - 14歳の部・女子）、中央／松田正史（11 - 12歳の部・男子）、  
右／鍋島海良（15 - 17歳の部・女子） 写真クレジット：© I J G A 2 0 1 5